

## 2022年度 CO2排出量(Scope3)のカテゴリ別内訳

カテゴリ	算定対象	排出量 (t-CO2)	比率
1	外部委託運送、倉庫の再保管、文具等	1,206,245	93.4%
2	倉庫建設に伴う資本財等	42,337	3.3%
3	使用した電力・燃料	10,039	0.8%
4	文房具等の調達時の輸送	—	—
5	自社の拠点等で発生した廃棄物	3,212	0.2%
6	従業員の出張	483	0.0%
7	従業員の通勤	837	0.1%
8	非該当（リース資産（上流））	—	—
9	非該当（輸送・配送（下流））	—	—
10	非該当（販売した製品の加工）	—	—
11	販売製品の使用	4,393	0.3%
12	販売した製品の廃棄	55	0.0%
13	リースした資産の使用	23,980	1.9%
14	非該当（フランチャイズ加盟者のScope1,2）	—	—
15	非該当（株式投資、債権投資等）	—	—
Scope3 排出量合計 (t-CO2)			1,291,580

※ Scope3排出量は三井倉庫ホールディングス、三井倉庫、三井倉庫エクスプレス、三井倉庫ロジスティクス、三井倉庫サプライチェーンソリューション、三井倉庫トランスポート、丸協運輸（大阪）、丸協運輸（愛媛）を対象に調査をしています。

※ カテゴリ4はカテゴリ1に含めて算出しました。